



社会福祉法人愛知いのちの電話協会

# 名古屋いのちの電話

<http://www.nagoya-inochi.jp/>

## 第22期 電話相談ボランティア養成講座はじまる

社会福祉法人愛知いのちの電話協会の担い手である電話相談ボランティアの養成講座が4月18日から始まりました。講座は週1回2時間のペースで行われ、2014年2月に修了予定です。その後、2014年9月までインターンとして実習し、最終認定されて相談員となります。

今年は、去年の約2倍にあたる34の方が受講していただきました。



「いのちの電話の精神」について話す加藤明宏理事

### 「いのちの電話」相談員とは

相談員になるためには、一年の講座・研修を修了し、さらに数月の電話相談実習研修を受けた後に、審査認定を受けなければなりません。

- (1) 相談員は、社会的責任を求められるボランティアです。
- (2) 相談員は、相談電話を担当するほか、募金、広報事業、事務実務など「いのちの電話」全体の活動に参加していただきます。

- (3) 活動に関しては無給で、交通費・受講料も自己負担です。
- (4) 愛知いのちの電話協会では、日曜・祭日に関係なく、24時間、365日相談を受けています。相談員は月4回以上、電話の担当をしていただきます。
- (5) 相談員は、月1回以上の研修が義務づけられています。

その他、積極的な自己研鑽が求められています。

# 日本いのちの電話連盟の活動

## 1. 沿革

1977年当時、いのちの電話センターはわずか全国に5ヶ所だけでしたが、この運動を全国に拡大する目的で日本いのちの電話連盟が結成されました。

その後この運動は飛躍的に拡大し、2011年現在、連盟加盟センターは49となり、電話相談を実施している都市は51ヶ所となりました。電話相談員は約7100名で、相談件数は年間75万件(2011年)超に達しています。

## 2. 経緯

1971年：「いのちの電話」が東京に開設される。

1988年：日本いのちの電話連盟は、1977年8月16日に、「いのちの電話（東京）」、「東京イングリッシュ・ライフライン」、「関西いのちの電話」、「沖縄いのちの電話」、「北九州いのちの電話」をもって結成。

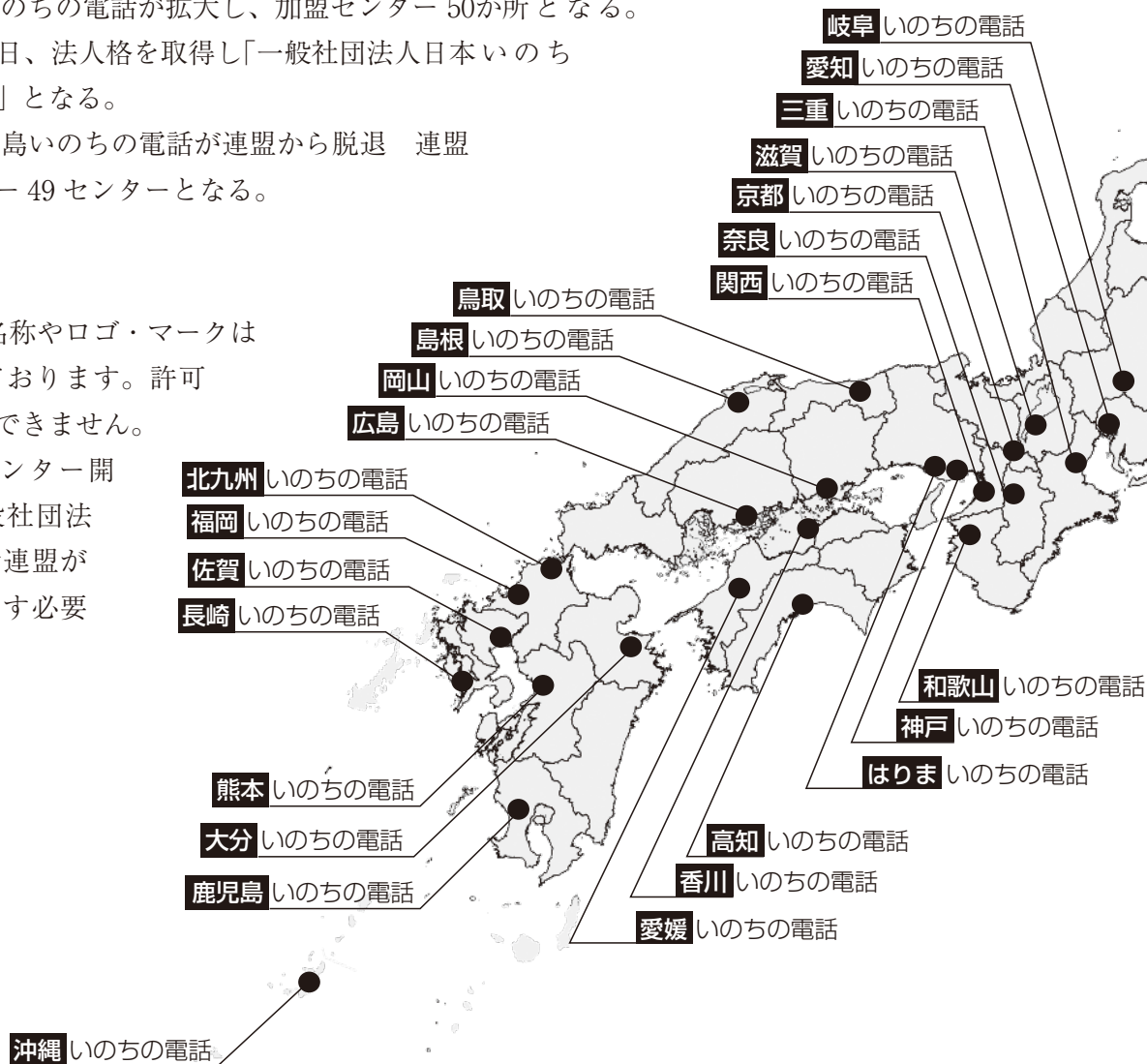
2009年：全国に、いのちの電話が拡大し、加盟センター50ヶ所となる。  
同年10月1日、法人格を取得し「一般社団法人日本いのちの電話連盟」となる。

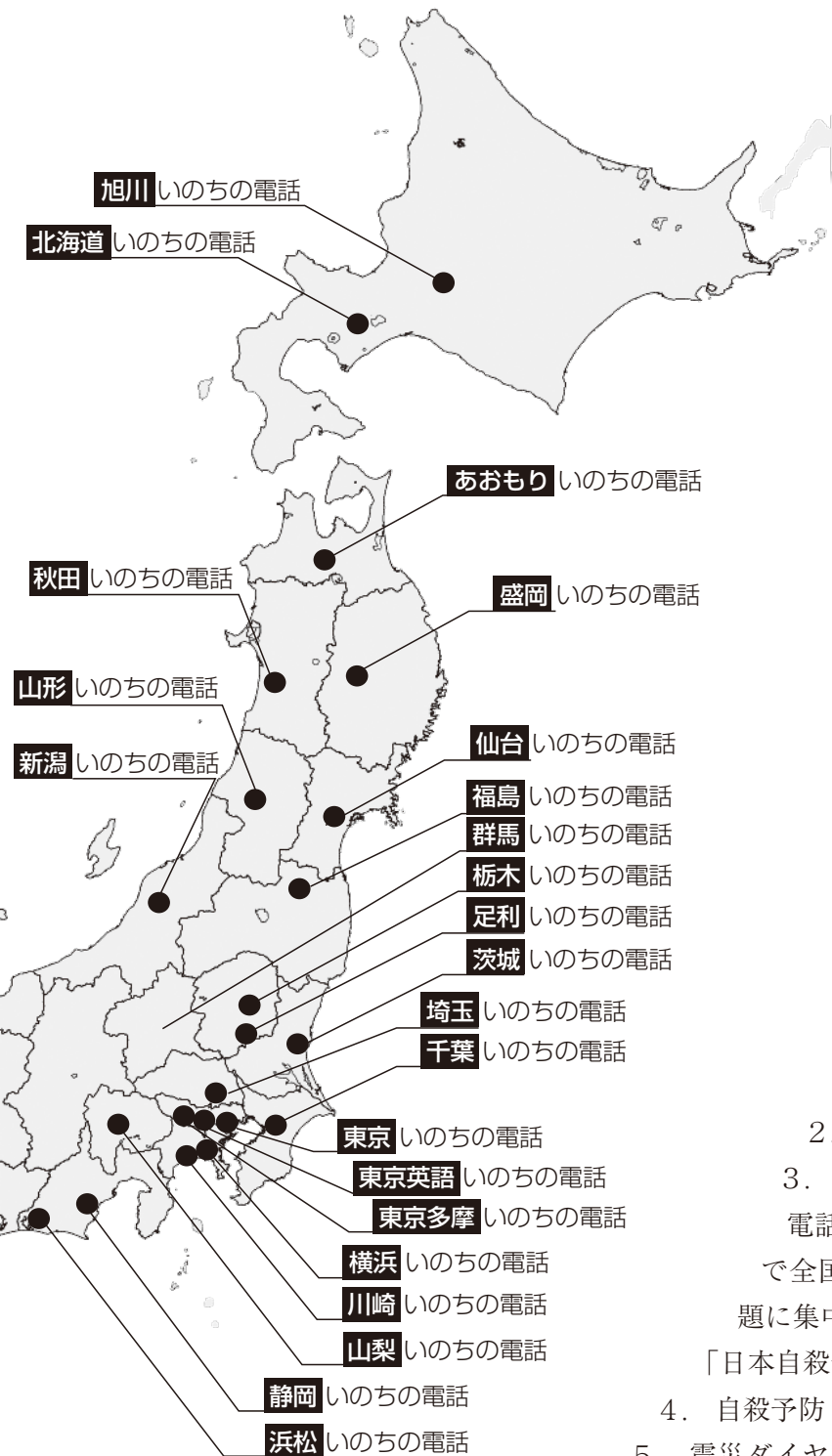
2011年：同年3月徳島いのちの電話が連盟から脱退 連盟加盟センター49センターとなる。

## 3. 特徴

「いのちの電話」の名称やロゴ・マークは特許庁に登録されております。許可なく使用することはできません。

「いのちの電話」センター開設のためには、一般社団法人日本いのちの電話連盟が定めた諸規則を満たす必要があります。





### ○ 設置条件の概要

1. 賛同者が100名以上あり、理事会など責任ある運営主体をつくる。
2. 連盟が定める最小限度以上の研修プログラムをたて、相談員を募集、また研修する。
3. 相談員は無償ボランティアで所定の研修を終了し、認定を受けなければならない。
4. 電話相談センターは年中無休、24時間体制で相談を受けることを原則とする。
5. 相談員の信条・宗教は一切問わないが、組織は特定の価値観によって左右されない。
6. 法人格は義務づけられていないが、社会福祉法人・NPO法人などが望ましい。
7. 電話相談センターは幅広い民間の浄財と公的補助金などで運営される。

### 4. 日本いのちの電話連盟の事業

1. 新設センターへの支援・助成
2. 電話相談員全国研修会の開催
3. 毎月10日フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」(厚生労働省の補助事業)の実施。同一番号で全国のいのちの電話をオンラインで結び、自殺問題に集中して相談を受ける。  
「日本自殺予防シンポジウム」の開催。
4. 自殺予防・危機介入・電話相談に関する研究調査、出版。
5. 震災ダイヤル：被災地域からフリーダイヤルで電話相談を実施。
6. その他研修・広報・財政など連盟が必要とする専門家会議を招集する。

センターによって聴覚・言語障害者のためのファクシミリ相談、医療相談など専門的な相談を実施。

東京いのちの電話では2007年10月インターネット相談を開始。

# 2012年度決算報告

愛知いのちの電話協会は、電話相談事業を中心に様々な人の悩みを聞き一緒に考えることで、悩みを抱えた人々の力になればと、日々活動しております。社会福祉法人としてのこのような福祉活動は、公益性・継続性・非営利性を確保し、利用者に安心をとどけることですので、営利法人とは違って、利益が中心にあるわけではありません。しかし、現在の社会福祉法人の現状を考えると、多額の補助金が用意されているわけではなく、愛知いのちの電話協会を知っていただいた方の寄付や会員になっていただいた方の会費が運営上非常に重要になっています。今回の決算報告の数字は、愛知いのちの電話協会がこのような福祉活動を行い、それを人々に広く知ってもらい、そんな地道な努力の結果だと思えます。

## 2012年度決算・2013年度予算

2012年度資金収支計算書の中で、特に注目して頂きたいのは、収入の内訳です。補助金はほぼ予算通りですが、会費、寄付金、年末募金、雑収入が予算を大幅に上回り、(約457万円増)、講座受講料は落ち込み(23万円減)ましたものの、収入総額は、予算比436万円増の1695万円となりました。これは、前年度に比べ、320万円増加したことになります。これは財政危機を脱するため、改めて法人会員へ「いのちの電話」の活動状況、緊迫している財政を説明、支援をお願いし、賛同を得た結果であります。一方、支出も極力、節約に努め、予算額を大きく下回る、1399万円に抑えました。この結果、当初の赤字予算を大幅に改

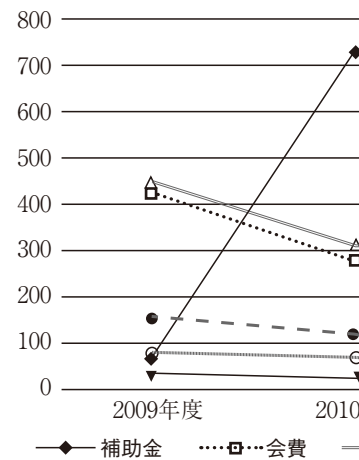
### 2012年度資金収支計算書

2012年4月1日~2013年3月31日

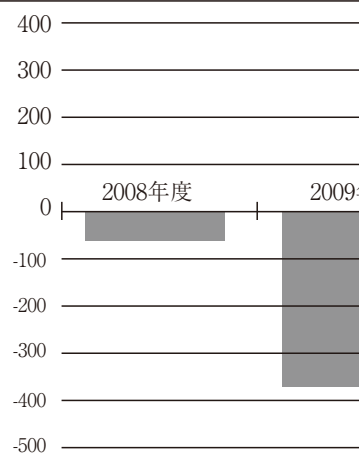
単位:円

資金収支計算書					
勘定科目		予算	決算	差額	
決算 の 状 況	經常活動による収支	収入			
		補助金	3,755,000	3,788,000	- 33,000
		会費	3,000,000	5,225,000	- 2,225,000
		寄付金	2,500,000	4,119,222	- 1,619,222
		年末募金	500,000	636,000	- 136,000
		講座受講料	1,100,000	867,000	233,000
		登録更新料	200,000	170,000	30,000
		受取利息配当金収入	1,500,000	1,525,826	- 25,826
		雑収入	30,000	616,133	- 586,133
	經常収入 (1)	12,585,000	16,947,181	- 4,362,181	
	支出				
	人件費支出	5,300,000	3,750,800	1,549,200	
	事務費支出	7,619,080	7,114,793	504,287	
	事業費支出	4,030,000	3,121,461	908,539	
	經常支出計 (2)	16,949,080	13,987,054	2,962,026	
經常活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	- 4,364,080	2,960,127	- 7,324,207		
収等施	収入				
支に設	施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
よる設	支出				
備	施設整備等支出計 (5)	0	0	0	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
収に財	収入				
支	財務収入計 (7)	0	0	0	
よる	支出				
活動	財務支出計 (8)	0	0	0	
	財務活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0	
	当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)	- 4,364,080	2,960,127	- 7,324,207	
	前期末支払資金残高 (11)	6,487,643	6,487,643	0	
	当期末支払資金残高 (10)+(11)	2,123,563	9,447,770	- 7,324,207	

### 収入の変化



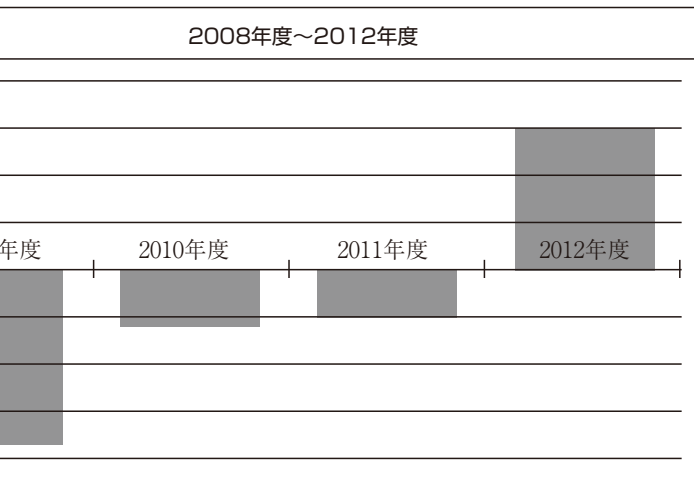
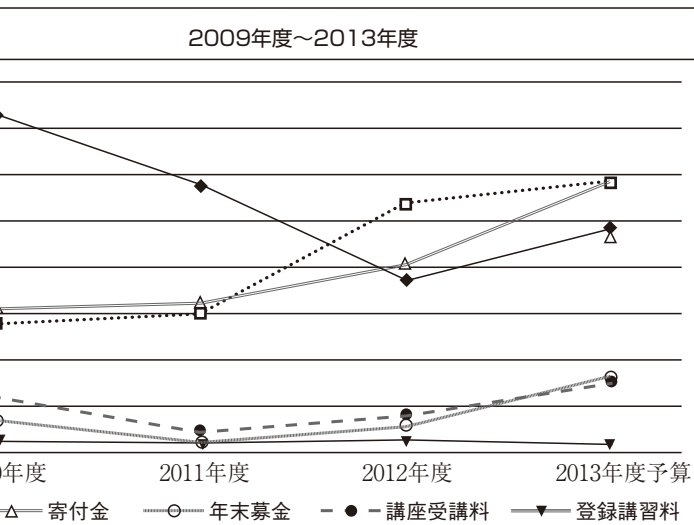
### 収支差額



告・2013年度予算

善、732万円の黒字決算に成りました。2013年度も、引き続き積極的に、法人、個人会員に働きかけ、収入増加に努め、さらに新たに講座を開設することにより、講座受講料収入の増加をはかって参ります。そうしたことから、予算額も、前年決算額の200万円の増収を見込み、それに合わせて支出も、当協会の周知のための広告宣伝費、養成講座のさらなる充実をはかるための費用にあてるべく、予算を立てました。5年ぶりに、健全財政の黒字予算を組み、実行して参ります。

財務担当税理士：水野正寛



2012年度収支計算書・2013年度予算

単位：円

科 目	2012年度 決算額	2013年度 予算額
<b>収入の部</b>		
補助金	3,788,000	4,860,000
補助金	3,188,000	4,260,000
共同募金分配金	600,000	600,000
会費	5,225,000	5,800,000
賛助会費 (A)	610,000	700,000
賛助会費 (B)	335,000	350,000
賛助会費 (C)	210,000	250,000
会費法人	4,070,000	4,500,000
寄付金	4,755,222	4,700,000
個人	2,447,583	2,500,000
団体	1,671,639	1,500,000
年末募金	636,000	700,000
講座受講料	867,000	1,400,000
登録更新料	170,000	150,000
受取利息	1,525,826	1,300,000
雑収入	616,133	600,000
<b>収入合計</b>	<b>16,947,181</b>	<b>18,810,000</b>
<b>支出の部</b>		
給料手当	3,750,800	4,390,000
広告宣伝費	1,400,907	3,100,000
教育・訓練費	1,204,939	1,200,000
調査・研究費	10,000	150,000
連盟負担金	284,000	290,000
管理費	300,000	300,000
会場費	14,250	100,000
養成講座教育費	505,615	1,500,000
水道光熱費	528,027	550,000
文具・印刷費	97,181	60,000
消耗品費	677,926	700,000
賃貸料	2,664,000	2,700,000
支払保険料	73,290	100,000
修繕費	15,750	50,000
リース料	325,080	330,000
旅費交通費	644,730	1,000,000
通信費	427,845	400,000
支払手数料	54,621	50,000
会議費	597,591	700,000
諸会費	14,400	20,000
顧問料	210,000	700,000
雑費	186,102	200,000
予備費		220,000
<b>支出合計</b>	<b>13,987,054</b>	<b>18,810,000</b>

社会福祉法人愛知いのちの電話協会  
2012年度事業報告・2013年度事業計画

### 2012年度事業報告

#### 1 本部事業

理事会の開催：5月・7月・9月・12月・1月・3月

評議員会の開催：5月・10月・1月・3月

#### 2 電話相談事業

##### (1) 電話相談受信

- ① 受信件数：20,672件
- ② 相談員：167名登録 135名実働

##### (2) 電話相談員研修事業

- ① 継続研修：15グループ 延べ 116回
- ② スーパービジョン グループ21回 個人103回
- ③ 名古屋市相談 48回
- ④ 事例検討会：4回
- ⑤ 登録更新研修会：1回
- ⑥ 全体研修会：連盟主催1回

ベルの会主催：4回

##### (3) 電話相談員養成事業

- ① 養成相談員：12名
- ② 養成講座実施回数：35回

##### (4) 広報・啓発事業

- ① 市民講座事業：1回
- ② 広報誌発行：年3回
- ③ ホームページの改定：全面改定1回、更新月1回以上
- ④ 名古屋駅・金山駅での啓発活動（愛知県主催）に参加（9月3月）

##### (5) その他

東海地区研修担当者会：1回

### 2013年度事業計画

#### 1 本部事業

理事会の開催：5月・7月・10月・12月・1月・3月

評議員会の開催：5月・10月・1月・3月

#### 2 電話相談事業

##### (1) 電話相談受信

- ① 受信件数：3台の電話機が稼働できるような人員配置を目指す。

1回の担当時間につき、昼間：3人 夜間：4人をめざす。年間延べ5,840人

- ② 相談員：実働150名をめざす（月：昼間2回・深夜1回の契約）

##### (2) 電話相談員研修事業

- ① 継続研修 15グループ 各10回
- ② スーパービジョン グループ1回・個人1回
- ③ 名古屋市 48回
- ④ 事例検討会：4回
- ⑤ 登録更新研修会：1回
- ⑥ 全体研修会：連盟主催1回

ベルの会主催：4回

##### (7) 期別研修会

##### (3) 電話相談員養成事業

- ① 養成相談員：34名
- ② 養成講座実施回数：35回

##### (4) 広報・啓発事業

- ① 市民講座事業：1回
- ② いのちの電話カード配布事業（森村豊明会助成事業）
- ③ 創立記念日感謝の集い（7月1日）
- ④ コンサート事業の検討（2014年共同募金利用）

##### (5) その他

- ① 東海地区研修担当者会：1回 三重県津市
- ② インターネット相談調査研究会の立ち上げ
- ③ 設備の更新：相談室の椅子4脚 501の机3台
- ④ 相談員メーリングリストの立ち上げ
- ⑤ 30周年記念事業検討

## ご援助ありがとうございます

2013年2月1日より5月31日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に報告を申し上げます。(順不同・敬称略)

なお、上記期間内に何度もご寄付くださった方もお名前は1回にさせていただきます。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会 理事長 小山 勇／財務委員会

### 賛助会員 A

渡辺邦俊 小林弘子 岡田庸男 浜屋義幸 岡谷篤一 佐藤弘子 川上厚成 田中健次郎 田畑洋子  
望月ちとせ 榎本和 梨本将代 山本秀樹 川原恵 戸田安士 宗教法人薬師寺柿本大真 木村祐子

### 賛助会員 B

吉田愛子 神戸一子 神田輝夫 西村穰 寺西佐稚代 山本幸江 下村明子 牧岡恒夫 森岡鋤 常富佳子  
岡部美代子 多和田いみ子 宮内英夫 小室美奈子 柴田素伸 吉岡満智子 安井充子

### 賛助会員 C

初井敦子 林高寺 河田いさを 竹内宏子 三輪淳子 佐藤尚江 林温江 神谷将弘 近藤直枝 安井充子  
山下タカ子 藤垣鉞雄 水野真 大島恭子 橋本良男、飯塚三千子

### 法人会員

学校法人福井栄冠学園 名古屋トヨバット株式会社 株式会社泉製作所 ユニー株式会社  
愛知トヨタ自動車株式会社 株式会社三琇プレジジョン 大成株式会社 大同メタル工業株式会社  
岡谷鋼機株式会社 株式会社榎屋 アイシン精機株式会社 杉山工業株式会社 株式会社三清社  
豊田合成株式会社 株式会社豊田自動織機 トヨタホーム株式会社 川名山聖霊修道院 トヨタ紡織株式会社  
株式会社デンソー トヨタ車体株式会社 小島プレス工業株式会社 西川コミュニケーションズ株式会社

### 寄付・個人

伊藤美佐子 石田夏江 秋田あや子 野崎雅子 末本まき 鰐部可壽子 鈴木栄子 江口志のぶ 宮里及子  
永井洋子 高橋紀代子 岡本博子 河村公子 兼田智彦 西山えつこ 神田輝夫 久野泰子 井上靖一郎  
山口幸男 小川邦泰 前田誠一 榎本久美江 山下智恵子 落合亨子 白崎満喜子 小野澤園恵 寺西一雄  
河野富夫 古橋和子 吉田郁子 井沢陽子 崇覚寺水谷巍 山本秀樹 桜井淳子 伊藤恵美子 水谷真  
塩田保 鈴木和代 関口純一 堀田直子 杉藤はる子 天野典子 宮木清子 柴川久仁子 森宣子 幸順子  
浅野喜代子 村上茂子 小枝清子 小栗厚紀

### 寄付金・協力団体

カトリック布池教会 日本基督教団金城教会 聖心会修道院 Y M C A 南山幼稚園南山ファミリーY M C A  
宗教法人専念寺 日本キリスト教団南山教会婦人会 愛知教会女性の会 あすてボランティア  
金城学院高等学校 のぞみサイクルオープンハウス 公益財団法人森村豊明会 川北電気工業株式会社  
幼き聖マリア修道会 日本キリスト教団名古屋北教会 日本福音ルーテル教会復活教会婦人会  
宗教法人建中寺 近江屋

### クリスマス募金・歳末募金

金城学院大学キリスト教センター 聖ドミニコ宣教修道女会岡崎修道院

## 事務局だより



空梅雨、台風と、蒸し暑い毎日。

近くの街路樹の下、たくさんのクチナシの花が咲きました。

甘い香りが漂い、行き帰りの楽しみのひとつとなっています。

また、事務局には、相談員さん持ち込みの緑の鉢植えが、室内を和ませています



## 2013年度スタート！！

## 継続研修

6月から2013年度の継続研修グループがスタートしました。昨年度からの研修内容を楽しむにするグループもあれば、新たな学びが期待されるグループもあります。

新しいメンバー構成になり、仲間作りの広がり、と新鮮な気持ちでの研修が始まりました。

## 養成講座

22期の養成講座が4月から始まりました。研修生の人数も多く、熱心で迫力ある研修が続いています。今後の研修が楽しみです。

平行して、21期生の電話実習が行われています。よりよい相談、聴くことへのステップアップを目指して真剣に実習に取り組む姿が見られます。

秋の認定に向けて、あと一踏ん張りです。

## ベルの会

各継続グループから世話人が決まると、新年度ベルの会世話人会が発足します。相談員全体の代表機関として、よりよい活動を目指し、新たな取り組みにも期待が寄せられます。

## 宿泊研修

今年度から、5年ごとの期を限定して宿泊研修が行われます。久しぶりに同期の相談員が宿泊を共にして学び合う研修です。

7月の開催を楽しみにする声が聞かれます。

## 震災ダイヤル研修会

5月29日、カルテの会検討会「震災ダイヤルについて」の研修会が開かれました。震災ダイヤルが始まって2年。懸命に聴かせていただくことを心がけながら対応した相談員の率直な感想、困惑したことや疑問点などを出し合い、意義深い研修会となりました。臨床心理士の三和啓二先生からも、『私たちのできること、しなければならないこと、してはいけないこと』を具体的に示していただき、次へ備えること、通常ダイヤルやフリーダイヤルにも通ずる貴重な内容が提示されました。

9月いっぱいでの終了を惜しむ声と共に、今後の相談活動に生かしていこうと、相談室には全体で共有できるように記録が掲示されています。

## 創立記念日感謝の集い

愛知いのちの電話創立28周年を記念して7月1日感謝の集いが開かれます。これまで支えてくださった方々に感謝です。

## 賛助会員を募集しています

## ご協力をお願いします

社会福祉法人として寄付金の税法上優遇措置が受けられます。誠に失礼ですが振込票を同封させていただきます。ご利用くだされば幸いです。

- (1) 法人会費 年間5万円・10万円・20万円 (2) 賛助会員(年間1口) A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円  
(3) 一般募金はご自由な金額で結構です (4) 夏期及び歳末寄付の特別募金

口座名 社会福祉法人愛知いのちの電話協会 口座番号 三菱東京UFJ銀行大津町支店(普)477029  
郵便振替口座 00810-8-53758

社会福祉法人愛知いのちの電話協会

2013年7月

〒461-8691 名古屋東郵便局 私書箱第257号

事務局 ☎ 052-508-8381 FAX052-508-8384

<http://www.nagoya-inochi.jp/> E-Mail info@nagoya-inochi.jp

相談電話 ☎ 052-931-4343 携帯相談電話 NTT ドコモ東海「# 9556」

2013年7月1日発行

発行人 小山 勇

編集人 愛知いのちの電話

協会事務局